直方支部　直方県土整備事務所　坂井　賢之

私は現在、本事務所で流域下水道建設および街路事業に従事しています。

今回の投稿で何のテーマで書こうかといろいろ考えた末、従事してきた業務での苦労話を書くことにしました。

３年前の４月、道路建設課から都市施設整備課に所内異動になり、初めて担当した流域下水道の管渠築造工事での苦労話を紹介します。

現場は幅員が狭小な市道で、また、民家が道路沿いに建ち並んでいる場所であったため、この工事で中間立坑と到達立坑を施工するときには、市道を全面通行止めにして工事を行う必要がありました。

工事着手及び通行止めの了解をもらうために、地元に対して説明を行いましたが、すぐには工事着手の了解が得られませんでした。

その後、何度も説明を行っていくうちに、少しずつではありますが、打ち解けるようになり、ようやく工事と通行止めの了解を得ることができました。

工事着手してからは地元の方々の工事への理解と協力のおかげでトラブル等が発生することもなく、無事に工期内に工事が完了しました。

この出来事を経験して、地元の方々の協力無しでは公共事業を円滑に行うのは困難であることを改めて思い知らされました。

私は県職員になってからほんの十数年しか経験していないので、まだまだ学ぶべきところが多々ありますが、この経験を活かして、これからは、地元の方々との信頼関係を大切にしていくことを忘れずに日々の業務に精進したいと思います。

現場写真